

Q22. 血液透析を受けていますが、血液量はとれているのに、4時間ごとの透析率があまり良くありません。なぜでしょうか。（再循環）

A.

透析を行う時は、動脈側から血液を抜き出し、ダイアライザーを通してきれいにして静脈側へ戻しているのですが、その戻った血液が再び動脈側から抜き出され、ダイアライザーに流れてしまうという現象を再循環といいます。再循環される血液の量が、多ければ多い程、透析効率は悪くなります。血流量は十分あるのに、透析効率があまり良くない場合は、この再循環が生じていると思われます。

通常、手の先側（末梢）から抜き出して、心臓に近い側（中枢）へ戻せば問題ありません。ただ、戻した位置より心臓に近い側で血液が流れにくくなっている場合（流れがせき止められているような状況）は、効率がやや悪くなるようです。例えば、血管自体が、どこかで細くなっていて戻りが悪くなっている場合や、洋服の袖口が非常にきつくしめつけられて戻りが悪くなっている場合、常に、横向きの姿勢をとるために血管が強く圧迫され戻りが悪くなっている場合などです。

また、全く別の血管を使用している場合でも、戻した血液が、抜き出す血管へ少しずつ流れ込んで再循環を起こすことが、まれにあるようです。これは、使用する血管を選択する時に予測できるのですが、外見ではわからない細い血管が枝分かれて流れ込んでいる場合もあり、血液データなど注意する必要があります。

当院では、毎月初めに透析前・後で採血し透析率をチェックしています。

看護師